

科目名	担当教員名	授業形態	単位数	資格	大学 DP	学科 DP	学習成果
公衆栄養学	生川 美江	講義	2	栄養士必修	1, 2, 3, 4	1, 2, 3, 4	1, 2, 3, 4
授業概要 授業目的	公衆栄養学は、国や地域、集団の健康・栄養問題を解決する方策を学ぶ教科である。本講義では、公衆栄養の歴史、食料需給表、国民健康・栄養調査等の既存資料から国民栄養の変遷や現状を知り、現状を理解することに努める。そのうえで疾病予防・健康増進のために食生活はどうあるべきか、栄養士として健康づくりにいかに関わるかについて考え、活動できる力を育成することを目的とする。						
到達目標	①公衆栄養の対象と目的について説明できる。 ②国民栄養の変遷と現状を理解し、課題を見つけることができる。 ③公衆栄養活動について説明でき、健康づくりのためのプログラムを作成することができる。						
回	学習内容						
1	オリエンテーション、公衆栄養学の概念 1 公衆栄養学の意義と目的						
2	公衆栄養学の概念 2 公衆栄養活動の歴史、栄養士・管理栄養士制度、栄養士業務						
3	公衆栄養マネジメント 1 公衆栄養活動の進め方、健康日本 21						
4	公衆栄養マネジメント 2 公衆栄養プログラム						
5	栄養疫学 1 栄養疫学の指標						
6	栄養疫学 2 食事調査						
7	わが国の健康・栄養問題の現状と課題 1 疾病構造・栄養摂取の変化						
8	わが国の健康・栄養問題の現状と課題 2 食品摂取・食習慣の変化						
9	わが国の健康・栄養問題の現状と課題 3 食料需給と自給率						
10	わが国の健康・栄養政策 1 関連法規、食品表示						
11	わが国の健康・栄養政策 2 特定健診・特定保健指導						
12	諸外国の健康・栄養政策						
13	国民健康・栄養調査結果の検討（グループワーク）						
14	国民健康・栄養調査結果に関する発表						
15	まとめと試験						
予習内容 復習内容	予習：シラバスに従いテキストの講義範囲を読んでおく。 復習：授業中に配布した資料とテキストを整理し、考察を書き込む。						
教科書	友竹浩之・郡俊之/編、『栄養科学シリーズ NEXT「公衆栄養学概論」』、講談社 講義資料を毎回配布、ワークシートを随時配布する。						
成績評価	発言など積極的に取り組む姿勢・グループワークに取り組む姿 20%、授業中に課すレポート 30%、まとめの試験 50%で成績評価を行う。欠席回数が5回を超えた場合は評価対象外となる。						
実務経験	管理栄養士として、市役所（保健センター）に勤務し、母子保健法・高齢者の医療の確保に関する法律に基づく健康教室の運営を行いました。また、母子・成人に対し、年間 1000 件余の栄養相談対応をしました。これらの経験を生かし、集団の疾病予防・健康増進に対する理解を深めるよう講義します。						
その他 特記事項	本科目の内容は、行政の栄養施策が中心となるため堅苦しく感じるかもしれませんが、将来栄養士として病院、福祉施設、事業所等に勤務し、栄養改善を行うためには持つべき情報が多く含まれます。積極的な取り組みを期待します。						